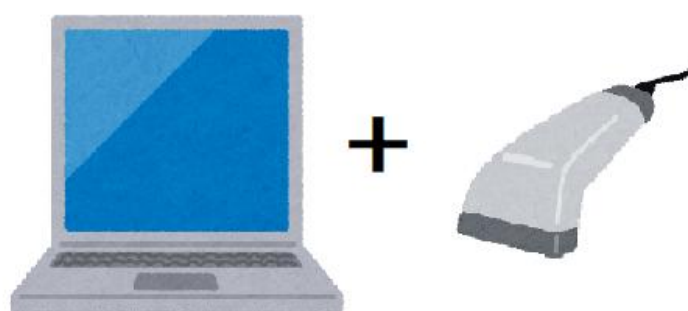


棚卸機能



こんなことができます

- 在庫商品のバーコードを読み取って（キーボード入力も可）、在庫合計を計算します。
- 入力した値に在庫数を更新します。
- 入力できるコード
 - 書籍バーコード（13桁、2段）
 - 雑誌コード（13桁+アドオン5桁）
 - JANコード（13桁）
 - コードのない商品も入力可
- らくほんの[雑誌入荷](#)、[入荷](#)・[売上](#)・[返品](#)・[移動入力](#)、[らくポス](#)を使っていれば、次のことができます。
 - 棚卸日が決算日と違っていても、逆算して決算日の在庫数を算出します。
 - 営業しながら数日にわたり棚卸を行っても、調整画面で入荷などのデータを棚卸前か後かを選択することで、在庫数を算出できます。
 - 雑誌は1桁目の値で、棚卸をせずに在庫数を算出できます。（ムック、コミックは除く）
 - 分類別に、在庫数・不一致数・年間売上数・同返品数・同入荷数・同回転率等の一覧表を作成できます。
 - 仮想棚卸処理で、実際に棚卸をしなくても、指定した日付（決算日）の在庫数を算出できます。



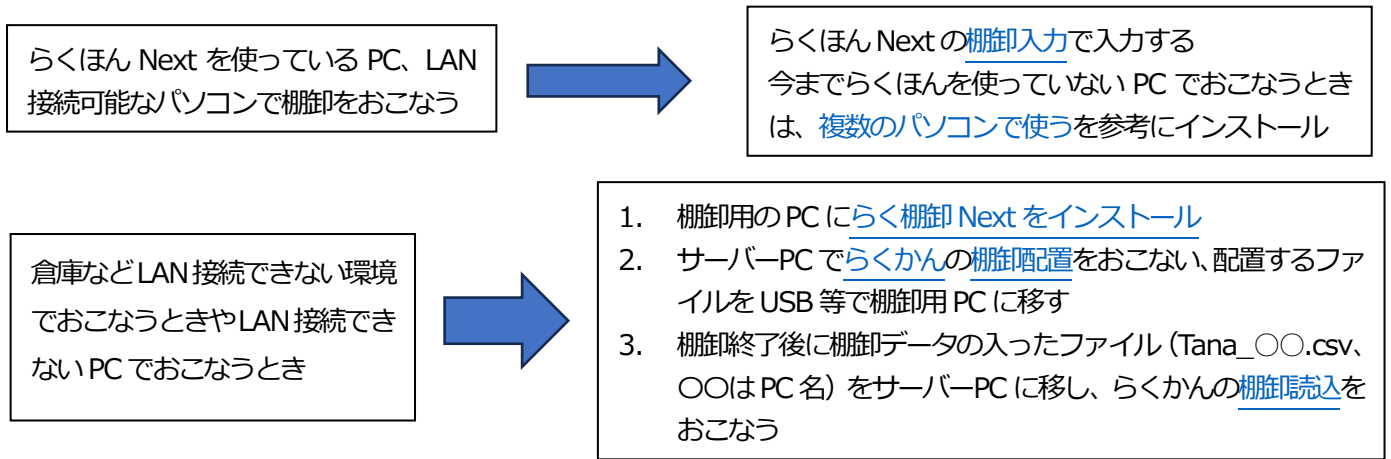
必要なもの

パソコンとバーコードスキャナー

- 効率的に行うには、複数台のパソコンとバーコードスキャナー
- おおよそ、1本の棚（80cm幅、6段程度）で30分ほど要します。



手 川 頁



らくかんでおこなう処理

1. 集計前処理

- [検索](#) : 商品コード、入力日、担当者、棚番号から棚卸データを検索し、棚卸検証がおこなえます
- [集計表](#) : 棚番号別、入力日別、担当者別の集計表と明細リストの印刷がおこなえます
- [エクスポート](#) : 棚卸データを CSV 形式のファイルに抽出します
- [棚番行数](#) : 棚番号の桁数を揃えることで、集計表などを見やすくすることができます



2. 棚卸計算

- [雑種棚卸](#) : らくほんの[雑種入荷](#)、[返品入力](#)等、[らくポス](#)を使っている場合、それらの入力データから在庫金額を算出することができます。
- [棚卸計算](#) : らく棚卸 Next から読み込んだ棚卸データを元に在庫金額の計算等の処理をおこないます
- [仮想棚卸](#) : らくほんの[雑種入荷](#)、[返品入力](#)等、[らくポス](#)を使っている場合、棚卸処理をせずに在庫数を計算する機能。
- [在庫更新](#) : 棚卸計算とは別に、らく棚卸 Next から読み込んだデータを元に、商品元帳の在庫数を更新する機能

3. 棚卸前の処理

- [データ初期化](#) : 前回の棚卸データを削除して初期化する機能

